

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科※ 応用制御システム講座
(※改組により平成30年4月発足)
3. 専門分野 通信工学とその関連分野
アンテナ工学、マイクロ波工学、環境電磁工学、通信方式等の分野に関する研究経歴を有し、通信工学一般に関する研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 メカトロニクス通論Ⅰ、同Ⅳ、物理学実験、実験補助、各種セミナー、卒業研究の指導・補助、修士論文の指導補助など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または採用予定日までに取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 平成30年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません。)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1による。*)
(2)研究業績書(本学所定の様式2による。*)研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1000字程度)
(5)教育に対する抱負(1000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧

注) *印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、
ホームページ(<http://www.akita-pu.ac.jp/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 平成29年10月31日(火) 必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※面接の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一
※封筒の表に「知能メカトロニクス学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。応募書類は返却しません。
(2)問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科長 磯田 陽次
TEL:0184-27-2941(ダイヤルイン) E-mail:isota@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
(女性活躍推進行動計画:<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)
(子育て支援等行動計画:<http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

今回の公募で求める人材像

平成30年度4月に発足する知能メカトロニクス学科では、学科の教育研究方針に基づいて応用制御システム講座のあるべき体制を検討し、通信工学分野において必要とされる、アンテナ工学やマイクロ波工学、環境電磁工学、通信方式等に関連する分野を専門とし、教育、研究、地域貢献に意欲をもって取り組める、助教として適格な人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は以下の通りです。

[教育]

移動体通信やセンサネットワークの構築に必要な通信工学分野では、ハードウェア技術だけでなく、ソフトウェア技術も今後ますます重要になると考えられます。この分野の技術と共にネットワーク技術や新材料、新デバイス等の広範な技術教育に積極的に参画できる人材を求めます。また、専門教育だけでなく、数学、物理学、実験・演習等の学部基礎教育に熱心に取り組む人材を求めます。

[研究]

計測通信制御システム研究グループでは、通信システム、制御工学、モーターやプラズマ等の研究開発を行っています。今回はアンテナ工学やマイクロ波工学、環境電磁工学、通信方式等に関連する分野を専門とし、研究実績を着実に積み重ねることができると共に、専門分野の発展に寄与するための研究活動を意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県の強みを生かし、今後の人口減少社会に対処していくためには、工業・農林業・エネルギー・輸送機等の産業分野において新事業の創出と、既存の事業を含めて、その拡大・発展に携わる人材の育成が必要です。これらの発展に寄与する電子技術、特に通信システムに関する技術の研究開発や技術者の育成に対する活動に積極的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

H30年度 知能メカトロニクス学科 大講座・グループ構成(予定)

別紙2

機械工学と電子工学に関する専門知識を有し、機械・電子・通信などの分野を融合したメカトロニクスをシステム思考に基づいて設計・開発でき、日本や地域の将来の産業に貢献できる実践的な技術者を育成する

応用制御システム講座

- 計測通信制御システム研究グループ
通信システム工学、制御工学、応用電磁工学

電子材料デバイス講座

- 先進物性デバイス研究グループ
電子材料・物性工学、光・電子デバイス工学

知能化機械システム講座

- ロボット・メカシステム研究グループ
ロボット工学、メカシステム、自動制御系
- 人間支援メカトロニクス研究グループ
生活支援工学、人工生体機構、脳情報工学